

政策目標	3	活力みなぎる元気な街						
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備						
施策の基本方針								
<p>超高齢社会の進展や環境への影響に配慮しながら、都市の魅力を高め、持続的に発展していくため、都心や苗穂駅周辺地区など地域特性に応じた拠点のまちづくりを進め、コンパクトシティへの再構築を推進します。また、総合的な交通計画を策定し、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図るとともに、路面電車の延伸、北海道新幹線の札幌延伸、自転車の利用環境の充実などを推進します。</p>								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				合計	進捗率(%)
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)		
施策1 道都札幌を支える交通体系の構築								
	路面電車延伸推進事業	2,014,000	76,475	125,464	488,328	1,056,186	1,746,453	86.7
	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入	852,000	0	331,304	525,179	8,456	864,939	101.5
	ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用	3,297,000	1,076,822	1,168,863	1,052,029	3,136	3,300,850	100.1
	SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)	2,174,000	253,685	1,225,713	278,314	0	1,757,712	80.9
	地域交通計画策定事業	35,000	11,078	8,411	8,505	7,128	35,122	100.3
	公共交通利用促進事業	64,000	31,668	6,221	7,380	3,245	48,514	75.8
	北海道新幹線推進事業	80,000	6,176	9,053	9,229	11,439	35,897	44.9
	丘珠空港利用促進事業	20,000	8,400	3,938	6,904	4,428	23,670	118.4
	都心アクセス道路強化事業	39,000	3,026	9,814	13,251	14,209	40,300	103.3
	自転車マナー向上対策の拡充	10,000	0	4,935	3,988	2,612	11,535	115.4
	総合的な駐輪対策の推進	1,372,000	84,929	418,819	31,660	174,384	709,792	51.7
施策2 魅力あふれる都市のまちづくり								
	将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業	40,000	7,221	7,775	7,282	8,266	30,544	76.4
	郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業	48,000	8,825	5,136	8,669	10,153	32,783	68.3
	苗穂駅周辺地区のまちづくり事業	1,447,000	3,887	104,473	85,905	2,544,766	2,739,031	189.3
	民間再開発による苗穂まちづくりへの支援(北3東11周辺地区)	188,000	0	0	0	0	0	0.0
	民間再開発によるまちづくりへの支援	6,836,000	244,570	696,240	658,490	348,400	1,947,700	28.5
	創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業	4,429,000	2,108	1,300	354,208	1,158,000	1,515,616	34.2
	(仮称)市民交流複合施設の整備【再掲】	7,793,000	2,582	8,373	15,080	7,983,907	8,009,942	102.8
	西2丁目地下歩道整備計画推進事業	1,448,000	6,108	4,278	19,773	990,629	1,020,788	70.5
	大通交流拠点まちづくり推進事業	2,158,000	19,460	43,661	761,691	1,355,190	2,180,002	101.0
	南一条まちづくりの事業化検討	—	9,348	9,394	8,728	8,228	35,698	—
	都心まちづくり戦略事業化推進	25,000	5,377	5,967	5,519	4,267	21,130	84.5
	都心エリアマネジメント推進事業	28,000	7,029	4,945	4,199	2,825	18,998	67.9
	札幌駅交流拠点まちづくり推進事業	28,000	6,447	1,015	1,472	4,423	13,357	47.7
	創世交流拠点まちづくり推進事業	23,000	1,159	6,458	4,620	5,086	17,323	75.3
	総合的な駐輪対策の推進【再掲】	1,372,000	84,929	418,819	31,660	174,384	709,792	51.7
施策3 市有建築物の保全、長寿命化などの推進								
	市有建築物の総合的な保全の推進	11,394,000	2,291,352	2,868,435	4,838,870	5,380,779	15,379,436	135.0
	札幌市立大学施設整備費補助	265,000	0	18,900	4,158	200,137	223,195	84.2
	学校給食における衛生管理の充実・向上	165,000	5,050	96,355	87,033	87,824	276,262	167.4
	中学校格技場整備事業	660,000	282,937	313,166	518,264	257,519	1,371,886	207.9
	市有建築物の改築等	2,713,000	759,088	1,622,161	365,060	310,685	3,056,994	112.7
	(仮称)白石区複合庁舎整備事業	4,306,000	12,252	63,384	68,428	1,363,464	1,507,528	35.0
	学校施設改築事業	20,756,000	3,141,622	7,110,988	5,620,335	7,647,718	23,520,663	113.3
重点課題合計		76,079,000	8,453,610	16,723,758	15,894,211	31,131,873	72,203,452	94.9

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 道都札幌を支える交通体系の構築							
路面電車延伸推進事業							
1 路面電車活用計画の策定		検討	策定	—	—	—	策定 (23年度)
2 既設線のループ化		—	—	実施設計	準備工事	工事	完成
路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入							
3 低床車両の導入(累計)		—	—	1両	2両	3両	3両
ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用							
4 バス・路面電車のICカード導入社数		—	—	—	4社	4社	4社 (25年度)
5 行政等の電子マネー決済導入箇所		1カ所	19カ所	19カ所	20カ所	20カ所	19カ所 (24年度)
SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)							
6 SAPICAの市内民間バスおよび路面電車への導入		—	準備	開発・試験	導入	導入済	導入 (25年度)
7 JRなど他事業者の発行するICカードの受入		—	準備	開発・試験	受入	受入済	受入 (25年度)
地域交通計画策定事業							
8 地域交通計画の策定		検討	検討	検討	検討	策定	策定
公共交通利用促進事業							
9 公共交通への自発的転換促進		検討	一部実施	一部実施	一部実施	実施	実施
北海道新幹線推進事業							
10 早期の認可・着工の決定		—	未着工	着工	着工	着工	着工
11 啓発・PR活動の実施回数		16回	4回	13回	12回	31回	20回
丘珠空港利用促進事業							
12 丘珠空港路線の利用者数		155千人	128千人	132千人	162千人	174千人	170千人
都心アクセス道路強化事業							
13 都心アクセス強化道路の計画検討(豊平川通北伸)		—	—	計画検討	計画検討	計画検討	計画検討
自転車マナー向上対策の拡充							
14 都心部に押し歩き地区を設定		—	—	—	—	設定	設定
15 バーチャル自転車教習所の利用者数		—	—	—	2,324人	3,106人	20,000人
総合的な駐輪対策の推進							
16 駐輪場整備台数(都心部)		5,571台	5,626台	6,025台	6,025台	6,025台	6,721台
17 駐輪場整備台数(駅周辺)		42,259台	42,976台	44,986台	45,628台	47,303台	44,039台

注: 番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街				
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 魅力あふれる都市のまちづくり						
将来を見据えた都市構造(コンパクト・シティ)への強化推進事業						
18 用途地域等の全市見直し	検討	実施	—	—	—	実施 (23年度)
19 都市計画マスタープランの見直し	—	—	検討	検討	検討	実施
郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業						
20 地域各種団体との勉強会の開催	—	8回	10回	14回	17回	20回
21 エリアマネジメント手法を活用した取り組み	—	2事業	2事業	2事業	2事業	3事業
苗穂駅周辺地区のまちづくり事業						
22 施設整備	—	—	—	着工	着工	着工
民間再開発による苗穂まちづくりへの支援(北3東11周辺地区)						
23 再開発事業の進捗	検討	推進計画 策定	—	—	都市計画 決定(手続中)	組合設立
民間再開発によるまちづくりへの支援						
24 琴似4・2地区再開発事業	工事中	工事中	工事中	完了	—	完了 (25年度)
25 北8西1地区再開発事業	—	推進計画 策定	—	—	都市計画決定	着工
26 南2西3南地区再開発事業	—	—	—	都市計画決定	—	着工
創世1.1.1区北1西1地区市街地再開発推進事業						
27 北1西1地区市街地再開発事業の事業化	検討	検討	検討	都市計画決定	組合設立 着工	着工
(仮称)市民交流複合施設の整備【再掲】						
28 (仮称)市民交流複合施設の整備	検討	検討	検討	検討	着工	着工
西2丁目地下歩道整備計画推進事業						
29 西2丁目地下歩道の整備	検討	検討	検討	検討	検討	着工
大通交流拠点まちづくり推進事業						
30 大通交流拠点の整備	検討	検討	検討	着手	整備	整備 (25年度)
南一条まちづくりの事業化検討						
31 南一条地区整備の事業化	検討	検討	検討	検討	事業化判断	事業化判断
都心まちづくり戦略事業化推進						
32 創成川以東地区まちづくり会議の設置	—	設置	設置 (23年度)	設置 (23年度)	—	設置 (23年度)
33 創成川以東地区まちづくり計画の策定	—	検討	検討	検討	検討	策定 (24年度)
都心エリアマネジメント推進事業						
34 都心全体のエリアマネジメント組織設立	検討	都心まちづくり 推進会議を開催	エリアマネジメント 組織のあり方検討	エリアマネジメント 組織のあり方検討	都心のエリアメン ト組織のあり方検討	設立
35 地区が連携した都心部活性化の取り組みの実施	検討	駅前通地区、大通 地区で実施	駅前通地区、大通 地区で実施	駅前通地区、大通 地区で実施	駅前通地区、大通 地区で実施	すべての地区 での実施
札幌駅交流拠点まちづくり推進事業						
36 札幌駅交流拠点再整備構想の策定	検討	検討	検討	検討	検討	策定 (24年度)
37 整備基本計画の策定	—	—	—	—	—	策定
創世交流拠点まちづくり推進事業						
38 創世交流拠点まちづくりガイドラインの策定	検討	検討	検討	検討	検討	策定 (25年度)
総合的な駐輪対策の推進【再掲】						
39 駐輪場整備台数(都心部)	5,571台	5,626台	6,025台	6,025台	6,025台	6,721台
40 駐輪場整備台数(駅周辺)	42,259台	42,976台	44,986台	45,628台	47,303台	44,039台

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策3 市有建築物の保全、長寿命化などの推進							
市有建築物の総合的な保全の推進							
41 保全実施延べ施設数		—	41施設	163施設	331施設	464施設	120施設
札幌市立大学施設整備費補助							
42 適切な保全の実施		—	—	—	実施	実施	実施
学校給食における衛生管理の充実・向上							
43 汚染区域と非汚染区域を明確に区分している学校		16校	20校	46校	76校	110校	98校
中学校格技場整備事業							
44 中学校への格技場設置数		66校	69校	72校	77校	79校	72校
市有建築物の改築等							
45 エレベーター設置未着手の地区センター数		7カ所	6カ所	5カ所	4カ所	3カ所	3カ所
46 区役所への非常用発電設備設置数(累計)		—	—	2区役所	5区役所	8区役所	5区役所
(仮称)白石区複合庁舎整備事業							
47 (仮称)白石区複合庁舎の整備		—	基本計画 策定	基本設計 民間事業者公募	実施設計	着工	着工
学校施設改築事業							
48 計画期間内に着手する学校数(累計)		—	2校	6校	9校	12校	12校

注:番号は、重点課題ごとの通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街					
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)
市民意識・行動指標							
56	札幌市が「自転車のルールやマナーが守られている安全なまち」だと思う人の割合	18.0% (23年度)	—	11.4% (24年度)	13.5% (25年度)	15.7% (26年度)	40% (26年度)
		意識啓発を促進しているものの、自転車利用者にルールやマナーが広く浸透していないため、現段階では目標値に届いていない。					
57	公共交通に対する満足度	45.0% (22年度)	68.7% (23年度)	74.7% (24年度)	71.9% (25年度)	72.1% (26年度)	55% (26年度)
		新型低床車両の導入やバス・市電へのSAPICA導入など、公共交通の利便性の向上に資する施策の実施が、数値の上昇をもたらしたと考えられる。					
58	住んでいる地域の住環境に満足している人の割合	55.7% (22年度)	75.9% (23年度)	80.1% (24年度)	79.9% (25年度)	78.9% (26年度)	60% (26年度)
		用途地域の見直しや地区計画の運用など都市計画分野のさまざまな事業により、数値が良好に推移した。					
59	札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合	63.0% (22年度)	76.2% (23年度)	79.5% (24年度)	81.3% (25年度)	82.1% (26年度)	70% (26年度)
		大通交流拠点の整備や札幌駅前通地下歩行空間でのイベントの実施などが、都心のにぎわいにつながり、目標値を達成したと考えられる。					
社会成果指標							
60	公共交通の利用者数	107万人 (22年度)	107万人 (23年度)	108万人 (24年度)	111万人 (25年度)	112万人 (26年度)	108万人 (26年度)
		モビリティマネジメントなど様々な利用促進策の実施などにより、バス、JR、地下鉄及び路面電車の利用者は増加しており、目標値に到達している。					

注：番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	3	活力みなぎる元気な街
重点課題	4	将来を見据えた魅力ある都市の整備
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	道都札幌を支える交通体系の構築	
26年度の主な取組内容(実績)		
低床車両1両を導入。	北海道新幹線札幌延伸の早期開業に向けたイベントや連携強化などを継続実施。	
駅周辺部に駐輪場を整備(栄町)。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【ICカード「SAPICA」の導入拡大と活用】バス・路面電車へのSAPICA導入や電子マネー等の多目的な利用の実現により公共交通の利便性を高めることで、「公共交通に対する満足度」と「公共交通の利用者数」に貢献できた。 【総合的な駐輪対策の推進】駅周辺での駐輪場整備を行い、自転車利用環境の充実につながった。		
施策2	魅力あふれる都市のまちづくり	
26年度の主な取組内容(実績)		
苗穂駅周辺地区において、施設整備、用地補償等に着手。	北1西1地区再開発事業の設計や工事等に対して補助を実施。	
大通交流拠点地下広場の工事を継続し、供用を開始。	都心各地区のまちづくり組織支援や札幌駅前通地上部の空間活用検討等により、都心のエアマネジメントを引き続き推進。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【苗穂駅周辺地区のまちづくり事業】JR北海道との工事施行基本協定に基づいた駅移転橋上化を進めることで、公共交通に対する満足度の増加に貢献した。 【大通交流拠点まちづくり推進事業】都心における新たな魅力になる、大通交流拠点を整備・供用開始することで、「都心ににぎわいがあると感じる人」の向上に貢献した。		
施策3	市有建築物の保全、長寿命化などの推進	
26年度の主な取組内容(実績)		
保全工事(96施設)、新エネ・省エネ技術の導入(16施設)及びバリアフリー改善(15施設)を実施。	市有建築物5カ所の改築等を実施。	
(仮称)白石区複合庁舎に係る実施設計を実施。	学校施設3校の改築工事に着手。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【市有建築物の総合的な保全の推進】市有建築物の計画的な保全により、長寿命化はもとより、環境負荷低減やバリアフリー化などの機能改善を着実に進めることで、「住環境に満足している人」の割合を向上させた。 【学校施設改築事業】災害時には避難所となり、また、平常時においては地域の核ともなる学校施設について、老朽化した施設の改築により、耐震性能の向上及び機能改善が進み、地域環境の向上に貢献できた。		
協働の状況		
【路面電車延伸推進事業】寄付や新型車両の愛称募集など、市民参加の取組について検討。		
【SAPICAの地下鉄・バス・路面電車での共通利用および他事業者の発行するICカードの受入(片利用)】市内民間バス事業者などとともに、サービス内容の検討及びシステムの開発などについて協議を実施。		
【学校施設改築事業】基本設計にあたり、保護者や地域住民の代表者等と協議しながら計画案を作成するとともに、住民説明会及び児童へのアンケート等により意見を募集し、設計に反映させた。		